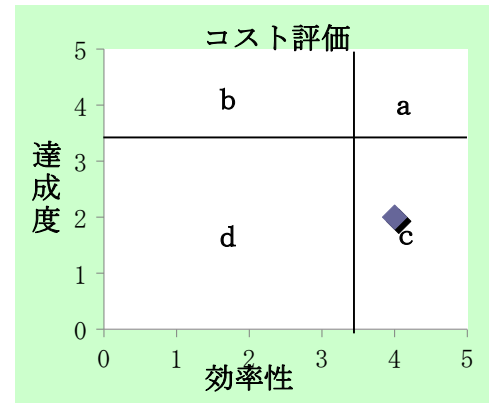
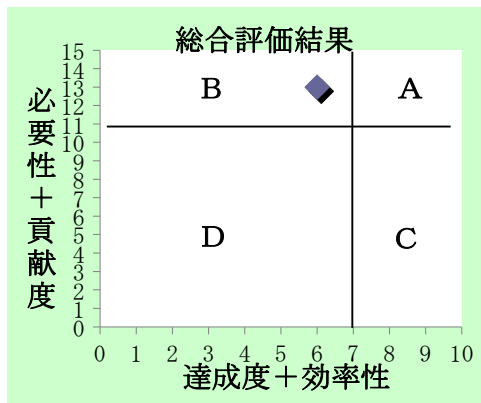


事務事業評価シート（行政評価委員会）

事務事業名称		有害鳥獣対策経費	
評価項目		評価基準	点数
必要性	ニーズ	<p>今の社会状況や市民ニーズがあるか。</p> <p>「5」……ますますニーズが高くなっている。</p> <p>「4」……依然とニーズが高い。</p> <p>「3」……どちらとも言えない。</p> <p>「2」……当初見てニーズは低くなりつつある。</p> <p>「1」……当初から見てニーズは低くなっている。</p>	5
	公共性	<p>(理由)</p> <p>有害鳥獣による農作物被害が多くなっており、高齢化により農作物自衛も困難な状態であるため、被害が拡大していくことが考えられる。</p> <p>また、農作物に限らない人的被害の恐れも強くなってきている。</p> <p>市と民間等の役割から市が行う必要があるか。</p> <p>「5」……行政以外にはできない事業である。</p> <p>「4」……民間でも可能だが行政が担うべき事業である。</p> <p>「3」……どちらとも言えない。</p> <p>「2」……民間でも実施できる(実施している)事業である。</p> <p>「1」……むしろ民間等で行う事業である。</p>	4
有効性	達成度	<p>事業の効果・成果は十分か。</p> <p>「5」……目標以上の達成度である。</p> <p>「4」……概ね目標水準に達する。</p> <p>「3」……どちらとも言えない。</p> <p>「2」……やや目標を下回り、改善が必要である。</p> <p>「1」……目標を大幅に下回り、根本的な見直しが必要である。</p>	2
	貢献度	<p>(理由)</p> <p>依然としてかなりの被害があるため改善が必要と考える。</p> <p>昨年と比べて事業の成果を挙げる。そして施策に反映されているか。</p> <p>「5」……昨年以上の成果をあげ、施策に非常に反映されている。</p> <p>「4」……昨年と同程度の成果をあげ、施策に反映されている。</p> <p>「3」……どちらとも言えない。</p> <p>「2」……昨年よりの成果が低く、施策にあまり反映されていない。</p> <p>「1」……昨年よりの成果がなく、施策に全く反映されていない。</p>	4
		<p>(理由)</p> <p>有害鳥獣の捕獲、電気柵の設置等目標値を上回っており、緊急度の高い要望にも対応を行っている。</p>	

評価項目	評価基準	点数
効 率 性	事業(取り組み・成果)に対する経費・人員(コスト)は適切か。 「5」・・・事業に対するコストが少なく、かなり効率が良い。 「4」・・・事業に見合うコストである。 「3」・・・どちらとも言えない。 「2」・・・ややコストが上回り、改善が必要である。 「1」・・・事業に対するコストが過大で効率が悪い。	4
	(理由) 広大な市域からすると妥当なコストと考える。	



- A:現時点では、現状(計画・予定)どおり事業をすすめることが妥当
- B:事業の進め方の改善検討
- C:事業規模・内容、実施主体等の見直しが必要
- D:事業の抜本的見直しが必要

- a:現状どおり事業をすすめることが妥当
- b:現在の有効性を維持してコストを下げる取り組みが必要
- c:コストパフォーマンスを維持して有効性増加が必要
- d:事業の抜本的見直しが必要

【今後の方向性】

	事業の方向性
結 論	当該事業の今後の方向性はどうか。 <input type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 再構築 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 廃 止
	(理由)
	① 緩衝帯を設置する事業を推進し、有害鳥獣が人里へ近づかないような取り組みをしていただきたい。 ② 有害鳥獣被害防止施設補助事業については、個人で3戸以上を組織するのが困難なため、農家組合単位で行う設置事業も補助対象とする、柔軟な要件としていただきたい。 ③ 有害鳥獣の頭数も多くなってきおり、畑だけではなく田にも被害が及んで拡大している状態であるため、これが耕作放棄に繋がり負の連鎖となっている。現在通年を通して駆除の許可を出している有害鳥獣以外にも害を及ぼす有害鳥獣は年間を通して駆除を出来るような体制をとっていただきたい。 ④ 猟友会の会員も年々減少していることから人員の年間目標を設定し、確保に努めていただきたい。